

IV 選定結果

1 選定種数の内訳

選定作業の結果、山口県における絶滅のおそれのある種（レッドリスト）の内訳は、表4のとおりとなった。

表4 カテゴリー別選定種数

単位：種、個体群

生物群	カテゴリー	絶滅 (EX)	絶滅のおそれのある種				準絶滅 危惧 (NT)	情報 不足 (DD)	合計	絶滅の 恐れのある 地域個体群 (LP)	
			絶滅危惧 類			絶滅危惧 類 (VU)					
			A類 (CR)	B類 (EN)	類 (CR+EN)						
動物	脊椎動物	ほ乳類	1 (2)	1 (1)		5 (3)	6 (12)	8 (4)	21 (22)	(1)	
		鳥類	1 (2)	11 (11)	5 (4)	28 (22)	57 (63)	2	104 (102)		
		両生類		2 (1)			4	5 (5)	(2)	11 (8)	
		は虫類					3	1 (4)	1	5 (4)	
		淡水産魚類		14 (2)	14 (10)		4 (4)	3	9 (4)	44 (20)	
	無脊椎動物	甲殻類 (カブトガニ含む)		(1)		1		3 (1)	6 (6)	10 (8)	
		昆虫類	13	17 (19)	17 (14)		36 (48)	59 (57)	246 (74)	388 (212)	
		クモ類						4 (5)	1	5 (5)	
		陸・淡水産貝類	4 (1)	9 (7)	10 (7)		12 (12)	17 (8)	15 (5)	67 (40)	
	植物	シダ植物	維管束植物	52 (45)	27 (11)		29 (10)	6 (13)		114 (79)	
種子植物			2	254 (228)	91 (36)		182 (214)	72 (69)	31	632 (547)	
コケ植物			9	7	5 (28)	5	20	23	69 (28)		
合計		20 (3)	369 (316)	172 (83)	6 (28)	308 (313)	253 (237)	342 (95)	1,470 (1,075)	(1)	

表中の括弧内数字は、レッドデータブックやまぐち(2002、貝類2003)の種又は個体群の数
カブトガニは便宜的に甲殻類に含めている。

2 選定種の記載について

選定された種の解説については、生物群毎に以下の構成で記載した。

(1) 構成

ア 概要

生物群単位でみた、県内における生息生育状況の推移、国レベルで比較考察した山口県の特異性等について記述したほか、選定の基準、調査方法等に関して、基本方針と異なる部分があれば別途記載している。

イ レッドリスト（選定種一覧）

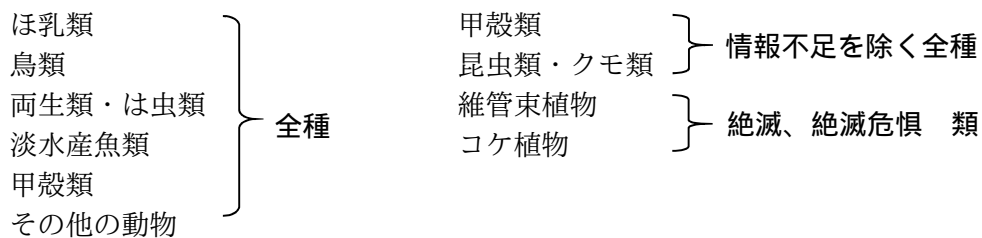
カテゴリー別に選定種の最新の知見に基づいた一般的な和名、学名を分類順に記載した。

ウ 種の解説

選定種の生息状況等の詳細を記載した。

本項目については、以下のように、生物群により記載対象とするカテゴリーが異なり、「種の解説」で記載のないカテゴリーについてはレッドリストのみで掲載している。

(種の解説対応)



エ 参考・引用文献一覧

種の解説にあたり、参考若しくは引用した文献名を示した。

(2) 記載項目の定義

「種の解説」での記載項目については、表5のとおり規定した。

表5 記載項目の定義

項 目	内 容
和名	一般的な和名を記載する。
目名・科名	目名・科名を記載する。
学名	山口県野生生物目録で使用している学名を記載する。
山口県カテゴリー	山口県におけるカテゴリー区分を記載する。 ・山口県レッドリスト 2018 ・レッドデータブックやまぐち (2002、貝類 2003)
環境省カテゴリー	環境省におけるカテゴリー区分を記載する。 ・環境省レッドリスト 2019
形態・生態	形態や生態の特徴、類似種との相違点等を記述する。
生息・生育状況	生息・生育する地理的条件、環境等について記述する。
選定理由	該当するカテゴリーに選定した理由を簡潔に記載する。
減少等の要因	生存に対する脅威、減少等につながる要因について記載する。